

ブレーキフルード DOT5.1

ブレーキフルード

パッケージ

| | |
|-------|-------|
| 150ml | 50本/箱 |
| 50ml | 60本/箱 |

商品番号

BF-503
BF-504

成分

グリコールエーテル
グリコールエーテル及びそのホウ酸
エステル化合物
酸化防止剤
防錆剤

特徴

ISO 4925(Class5),SAEJ 1703,FMVSS 116(DOT5.1),JIS K 2233 5種(BF-5)の規格に適合した最高級品です。

車の高性能化にともない、ディスクブレーキの普及、オートマチック車の増加等ブレーキの頻度が増加、ベーパーロックの危険が生じ、高性能ブレーキフルードが要求されて誕生しました。
ブレーキフルードの沸点を大幅に向上させ、ベーパーロック現象を予防します。

使用方法

- ① ブレーキ液の交換/補充については自動車毎に規定されているブレーキ液点検補給の取り扱い方法に従って下さい。
※交換目安 : 車検毎
: ブレーキ液の色が黒褐色になった場合
- ② ブレーキ液の交換/補充の際、リザーブタンク周辺の油、ごみ、水等が入らないようにしてください。
- ③ ブレーキ液のリザーブタンクの液面は常に正常に保つようにし、不足している場合は漏れ等を点検してから本液を補充してください。

取扱上の注意

全ての安全注意を理解したうえでご使用ください。
上記用途以外には使用しないでください。
安全データシート（SDS）をよく読み、ご使用下さい。
人体に害があるので飲んではいけません。
鉱油系またはシリコン系ブレーキ液との混合は禁止します。
引火性があるので、火気に近づけないでください。
取り扱い後はよく手を洗ってください。
子供の手の届くところに置かないでください
作業の際は必ず保護具（保護メガネ、保護手袋等）を着用してください。
ブレーキ液には吸湿性があり、吸湿すると沸点が低下し、ベーパーロック現象を起こしてブレーキが効かなくなる危険があるので注意してください。

-40℃以下での外気温度では、使用しないでください。

ブレーキ液は車の塗装面を傷めるので、付着した場合は速やかに洗い流してください。

ブレーキ液に鉱油（エンジンオイル、ガソリン、灯油、軽油等）、植物油、シンナー等を混合しないでください。ゴムカップの異常膨張により、ブレーキがきかなくなります。

床にブレーキ液がこぼれた場合は布等で拭き取ってください。

特性

| 項 目 | | JIS K 2233:2006 (5種) 規格 | 代表性状 | | |
|------------------------|---------------------------|---|----------------|-------|-------|
| 色 | | — | 淡黄色透明 | | |
| 平衡還流沸点 (°C) | | 260以上 | 300以上 | | |
| ウェット沸点 (°C) | | 180以上 | 214 | | |
| 動粘度 mm ² /s | (-40°C) | 1500以下 | 890 | | |
| | (100°C) | 1.5以上 | 2.3 | | |
| pH値 (23±5°C) | | 7.0~11.5 | 8.5 | | |
| 安定性 | 高温安定性 185±2°C 120±5min | 沸点変化は5°C以内とする。 | -1 | | |
| | 化学安定性 | 沸点変化は5°C以内とする。 | ±0 | | |
| 金属 腐食 性 | 金属試験片の状態 | ぶりき | ±0.2 | ±0.00 | |
| | | 質量の変化 | 鋼 | ±0.2 | ±0.00 |
| | | mg/cm ² | アルミニウム | ±0.1 | +0.01 |
| | | | 鋳鉄 | ±0.2 | -0.06 |
| | | | 黄銅 | ±0.4 | -0.02 |
| | | | 銅 | ±0.4 | +0.02 |
| | 外観 | 試験片と試験片との接触部以外に目視によって認めることができる程度の表面腐食がない。ただし、汚れ及び変色は差し支えない。 | | 合格 | |
| | 標準SBR カップの状態 | ベース直径の増加量mm | 1.40以下 | 0.28 | |
| | | 硬さの変化量 | 0~-15 | -4 | |
| | | 体積の増加率 % | 16.0以下 | 3.9 | |
| 外観 | | 形状及び表面状態に著しい変化がない。 | | 合格 | |
| 液の性状 | 外観 | 室温でゼリー状にならない。また結晶性物質の生成がない。 | | 合格 | |
| | 沈殿量 体積分率% | 0.10以下 | 0.05 | | |
| | pH値 (23±5°C) | 7.0~11.5 | 8.0 | | |
| 耐寒性 | -40±2°C | 外観 | 透明かつ均一で、沈殿がない。 | 合格 | |
| | 144±4h | 空気が液面に到達するまでの時間 s | 10以下 | 3 | |
| | | 外観 | 透明かつ均一で、沈殿がない。 | 合格 | |
| | -50±2°C | 外観 | 透明かつ均一で、沈殿がない。 | 合格 | |
| 6h±12min | 空気が液面に到達するまでの時間 s | 35以下 | 10 | | |
| | -40±2°C | 外観 | 透明かつ均一で、沈殿がない。 | 合格 | |
| 水許容性 | 22±2h | 空気が液面に到達するまでの時間 s | 10以下 | 5 | |
| | | 外観 | 透明かつ均一である。 | 合格 | |
| | 60±2°C | 外観 | 透明かつ均一である。 | 合格 | |
| | | 沈殿量 体積分率% | 0.05以下 | 0.00 | |

| 項 目 | | | JIS K 2233:2006 (5種)規格 | 代表性状 | |
|--|-----------------------------|---|---|----------------|-----|
| 混合性 | -40±2℃ 22±2h | 外 観 | 透明かつ均一で、沈殿がない。 | 合 格 | |
| | | 60±2℃ 22±2h | 外 観 | 透明かつ均一である。 | 合 格 |
| | | 沈殿量 体積分率% | 0.05以下 | 0.00 | |
| 抗酸化性 | 質量の変化 mg/cm ² | アルミニウム | ±0.05 | ±0.00 | |
| | | 鑄 鉄 | ±0.30 | +0.01 | |
| | 外 観 | 錫箔との接触部以外に、目視によって認めることができる程度の表面腐食がない。ただし、汚れ及び変色は差し支えない。また、錫箔との接触部以外の表面にガム状物質が付着していない。 | | 合 格 | |
| ゴム膨潤性 | 標準SBR カップ | ベース直径の増加量mm | 0.15～1.40 | 0.88 | |
| | | 硬さの変化量 | 0～-15 | -8 | |
| | | 体積の増加率 % | 1.0～16.0 | 10.0 | |
| | 120±2℃ 70±2h | 外 観 | 形状及び表面状態に著しい変化がない。 | 合 格 | |
| | | 標準EPDM | 硬さの変化量 | 0～-15 | -6 |
| | | | 体積の増加率 % | 0.0～10.0 | 6.2 |
| 120±2℃ 70±2h | 外 観 | 形状及び表面状態に著しい変化がない。 | 合 格 | | |
| ストローキング性能 | 金属部品の状態 | シリンダ及びピストンの作動状態 | 固着及び作動不良がない。 | 合 格 | |
| | | 付着物の状態 | ガム状及び研磨性のものでなく、エタノールを浸した布で容易に拭き取ることができる。 | 合 格 | |
| | | 表面の状態 | 目視によって認めることができる程度の表面腐食がない。 | 合 格 | |
| | | シリンダの内径及びピストン外径の変化 mm | 0.13以下 シリンダ ピストン | +0.03 -0.02 | |
| 85000 ストローク 120±5℃ 7.0±0.3 MPa | 標準SBR カップの状態 | ベース直径の増加量mm | 0.90以下 | 0.50 | |
| | | リップ直径のしめしろの変化率 % | 65以下 | 40 | |
| | | 硬さの変化量 | 0～-15 | -8 | |
| | | 外 観 | ただし、-17以上の変化のものが2個以上ない。 作動状態の異常を引き起こすようなねばつき、スカuffing、き裂、かじり及び変形がない。 | 合 格 | |
| | 液の状態 | 2400ストロークごとの損質量 ml | 36以下 | 0 | |
| | | 100ストローク追加して作動したときの損失量 ml | 36以下 | 0 | |
| | | 外 観 | 作動状態の異常を引き起こすような、スラッジ、ゲル状物質、ざらざらした砂状物質及び研磨性物質がない。 | 合 格 | |
| | | 沈殿量 体積分率% | 1.5以下 | 0.15 | |